

窪町小学校 5年 社会科「米づくりのさかなな地域」

授業のねらい ○米づくりに携わる人々がどのような工夫や努力をして米を生産しているか予想し、その予想をもとに学習計画を立て、学習の見通しをもつ。		機械 (25件) 名 ないか (24件) 名 人 (23件) 名 米 (22件) 名 してい (18件) 名 水 (16件) 名 工夫 (13件) 名 昔 (11件) 名 稲 (10件) 名 手作業 (8件) 名 ところ (8件) 名 田んぼ (7件) 名 何 (6件) 名 品種改良 (6件) 名 今 (6件) 名 パン (5件) 名 手 (5件) 名 生産 (5件) 名	
タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫 ①ムーブノートを活用し、自分が予想される分野ごとのカードを提出する。 ②広場に提出されたカードにコメントを入れて、相互に交流できるようにする。 ③広場で全体共有をし、友達のカードを見たり、キーワード集計で共通項を見出したりして、児童自身で学習計画を立てさせる。 作り方 昔は、機械もなかったから、手作業でやるしかなかったけど、今は、稲を収穫したり、植えたりする機会も初米されているから、今は機械で、昔は手作業でやっていたと思う。また、肥料も使っていると思う。なぜなら、理科でもやった通り、肥料を上げると、すくすく成長するから、使っていると思う。 課題 コメはもともと亜熱帯の植物だから、夏に気温が上がらないとおいしくならないと聞いたことがあります。でも、冷害が起きたときコメが足りなくなってしまうのではないかなと思います。実際に冷害に弱い品種が売られなくなったことがあるそうです。 工夫 ・一人で全部作るのは大変だから何人が協力して作業などを行っていると思う。 ・米には色々な種類があるけれどその中でもおいしいお米を選んで育てている。			
児童の様子 ○予想を考えるという場面なので、主体的に取り組んでいた。 ○タブレット端末を操作しながら、近くの児童と話し合いをしたり、カードを見て、交流したりしていた。			
成果 ○多くの意見に触れることができるので、学習計画を立てる際には児童が出てきた意見をもとに、自分たちで学習計画を立てることができた。 ○電子黒板やタブレット端末を見ながら、意欲的に話し合いを進めることができた。			
課題 ○時間のマネジメントをしっかりとしないと時間が足りなくなるので、予め取り組む時間を決めておく。 ○話し合いで出た意見を、教員側が上手く進行する必要がある。			